

令和元年度 学校評価アンケート結果について

県立大学附属中学校

【達成率】

領域	評価の観点	評価項目	質問番号	アンケート	生徒	保護者	教職員
教育課程	基礎・基本の徹底と個に応じた学習の充実	指導内容・指導方法の工夫改善	1	教員は、生徒の基礎的・基本的な学力が定着するよう工夫した授業ができています。	82%	81%	78%
			2	生徒は、学習習慣が身につく、宿題や提出物は期限を守って提出できています。	80%	74%	57%
			3	教員は、生徒一人一人の学習状況を把握し、授業やスタディサポートなどで、個に応じた指導ができています。	82%	78%	77%
		4	少人数授業の充実	国語・数学・理科・英語は少人数授業により、きめ細かな学習指導ができています。	83%	82%	80%
		5	評価方法の工夫改善	教員は、生徒の学習意欲を高め、学力の向上につながる評価ができています。	90%	83%	77%
	自ら学び、考える力の育成	指導内容・指導方法の工夫改善	6	教員は、授業や学習発表会などを通して、コミュニケーション能力や表現力の向上につながる指導ができています。	85%	82%	80%
			7	教員は、普段の授業等において観察・実験や調査・研究、作業・実習などの体験的・問題解決的な学習を通して、生徒の知的な好奇心や探究心を高めることができています。	89%	83%	80%
	道徳教育の充実	全教育活動の中での道徳性の育成	8	教員は、生徒の道徳性を養うため、道徳の授業力向上に努めることができました。生徒は、自分の個性や能力を伸ばすとともに、思いやりの心を持って生活できています。	85%	82%	81%
	特色ある教育活動の充実	総合的な学習の時間の充実	9	教員は、生徒がプロジェクト学習（ガイダンスキャンプ含む）・エリア学習・学部訪問・中大連携授業などのねらいや目的を理解し、積極的に取り組むことができるよう指導ができています。	90%	86%	84%
			10	学校設定教科「コミュニケーション」「探究科学」のねらいや目的を理解し、積極的に取り組むことができるよう指導ができています。	89%	83%	81%
		中大連携教育	11	「各学部訪問」「中大連携授業」「プロジェクト学習（ガイダンスキャンプ含む）」などの県立大学との連携教育の実施により、生徒の学習意欲や興味・関心を高めることができています。	89%	86%	83%
		中高一貫教育	12	高校との合同行事や高校での学習内容を取り入れるなど、6年間を一体的にとらえた特色ある教育活動を実践している。	86%	83%	64%
	特別活動	学校行事の充実と精選	13	文化祭（5月）、体育大会（10月）、ART FESTIVAL（11月）などの学校行事が充実したものになるよう工夫ができています。	91%	88%	81%
課題教育	読書活動の推進	朝の読書を中心とした読書習慣の確立	14	生徒は、朝の読書や図書コーナー・高校図書館の活用などを通して、学校や家庭で読書の習慣が身につけている。	72%	73%	78%
	健康・安全教育の推進	学校保健の充実と生徒の健康に関する意識の向上	15	生徒は、登下校や学校生活において、安全に心がけて行動ができています。	92%	83%	67%
			16	生徒は、望ましい生活のあり方や、自分の健康や体調に関心を持って生活ができています。	81%	76%	69%
	人権教育の充実	命と人権を大切に、共に生きる社会の実現をめざす生徒の育成	17	生徒は、友だちのよさや努力を認め合い、仲間と協力して活動することができる。	91%	83%	78%
	情報教育の充実	情報機器や情報通信ネットワークの活用	18	生徒は、パソコンなどの情報機器を、プレゼンテーションや作品製作、情報収集などに活用することができています。	88%	81%	83%
	国際理解教育の推進	海外の国の人々との交流の推進	19	生徒は、「インタービュあるディ」「スピーチコンテスト」「海外語学研修（3年生）」などに意欲的に取り組んでおり、国際交流活動や国際理解教育の取り組みは充実している。	92%	85%	88%
学校運営	開かれた学校づくり	家庭や地域の人々への情報発信	20	学校は、ホームページ・学級通信等により学校の様子を発信ができています。	79%	75%	73%
			21	学校行事、授業参観、オープンスクール、各種学習発表会、＜家庭訪問、＝トル＞懇談会等について、学校は保護者と連携して実施することができています。	86%	86%	80%
	生徒指導	好ましい人間関係に基づく学級・学校づくり	22	教員は、いじめの未然防止・早期発見・早期解決ができています。生徒は、いじめのない好ましい人間関係に基づいた楽しい学級・学校生活を送っている。	87%	79%	70%
			23	生徒は、適切な言葉遣いができ、忘れ物、服装の乱れなどのない、けじめのある生活ができています。	79%	77%	63%
				24	教員は、個々の生徒の生活の状況を把握し、適切な指導・支援を行っている。	86%	85%
	進路指導	自分自身を見つめ、自らの生き方を考え、主体的に進路を選択できる能力の育成	25	教員は、「トライやる・ウィーク」や県立大との連携教育等を通して生徒の個性や特性、希望などに基づいて、将来の進路にかかる指導を適切に行っている。	83%	77%	78%
	危機管理体制、施設等の整備	家庭・地域社会・関係機関と連携した危機管理体制の推進	26	学校では安全に生活ができています。	92%	87%	73%
			27	学校は、学びの場としてふさわしい教育環境の整備、安全に配慮した施設設備の管理に取り組んでいる。	89%	87%	75%
	教職員の資質向上	実践的指導力の向上	28	教職員は、その場に適した言葉遣い、態度、服装に心がけている。	90%	89%	84%
部活動	自発的な活動の活性化	29	教員は、部活動において、生徒の心身の発達や健康・安全面に配慮し、適切な指導ができています。	90%	85%	77%	